

全国障害者スポーツ大会に出場した小田さん



初めて全国大会に出場した小田さん
「もっと上手になりたいです」

妹背牛町内在住で、「深川デイプレイスふれあいの家」の就労継続支援B型を利用して働く小田史恵さんが、10月に栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に北海道代表選手として初めて出場しました。

惜しくもメダルには届きませんでした。小田さんは「いろんな地域の選手たちが勝敗に関係なく、お互いを称え合う会場の雰囲気

に感動しました」と話しています。小田さんは、プラスチック製の円盤を投げて、飛距離と正確性を競う「フライングディスク」の2種目に出場。飛距離を競う種目では、全国大会で自己ベストを更新する13メートルを投げました。

大会中は、ふれあいの家の仲間が応援メッセージの動画を制作し、同行する職員のスマートフォンに送信。25人が一斉にガッツポーズをしながら「ファイト！」と鼓舞する26秒の内容で、小田さんは「涙が出るくらいうれしかったです」と、今回の好記録を後押ししました。

フライングディスクは屋外競技。小田さんは「風の影響を受けやすいよう、強い回転をかける投げ方を覚えたいです」と練習に励んでいます。

税の書道展 金賞に妹背牛中1年生の宇野くん

佳作	銅賞	銀賞	金賞
相澤 健 浦瀬 満天 山上 麻里子	鈴木 愛菜 佐々木 佑奈	高見 咲智 吉野 ひめか	宇野 絢真

受賞者は次の通りです。
(敬称略)

税を身近に感じてもらう「税を考える週間」(11月11日～17日)にちなんだ書道展で、妹背牛中学校(奥山直人校長)1年生8人の作品が入選しました。11月4日、中学校で開かれた表彰式には田中一典町長、深川税務署の大堀修一署長、妹背牛商工会の赤藤敏仁会長らが出席。小学1年生から町内の書道教室に通う宇野絢真くんが「電子申告」の文字を力強く書いて、見事、金賞に輝きました。



入選した1年生と奥山校長



田中町長から表彰を受ける宇野くん

宇野くんは「4文字のバランスを考えるのが難しかったけれど、受賞をきっかけに税金への関心が高まりました」と、話しています。